

Q & A

Q：点滴棒にウロバック等をかけてそれを押しながら歩くのはどうか。

A：ウロバック等がない場合の移動方法がどうかという状況から判断する。点滴棒がウロバックをかけるためだけに必要である場合には「自立歩行」となる。

Q：移動の距離により移動方法に制限がかかっている場合はどうか（例：室内歩行可、治療室外車椅子）。

A：調査時間内に行われた移動方法の中で判断する。

<警告>

以下の5種類の状態評価の組合せの場合、警告メッセージが表示される。問題があれば修正する

必要があるが、問題が無ければ修正する必要はない。

1	床上安静の指示	(あり)	且つ	移動方法	(自立歩行～車椅子による介助走行)
2	心電図モニター	(なし)	且つ	肺動脈圧測定	(あり)
3	動脈圧測定	(あり)	且つ	移動方法	(自立歩行～車椅子による自立走行)
4	肺動脈圧測定	(あり)	且つ	移動方法	(自立歩行～車椅子による自立走行)
5	座位保持	(できない)	且つ	移動方法	(自立歩行～車椅子による介助走行)

6. 1.7 APACHE II 評価画面

特定集中治療室アシストシステム - APACHE II 入力



調査日 2002/10/21
患者名 第四 患者

性別 男

FIキーでエラーが表示されます

- [A] 急性の生理学的変化

	スコア
体温(℃) 38.5	1
最大血圧(mmHg) 191	
最小血圧(mmHg) 111	
平均血圧(mmHg) 138	3
心拍数 129	2
呼吸数(自発、強制問わず) 27	1
Ⓐ a) 血液酸素化で $FI_{O_2} \geq 0.5$ にて $A-aDO_2$ 213	
Ⓒ b) 血液酸素化で $FI_{O_2} < 0.5$ にて PaO_2	
Ⓐ 血液ガスを測定したとき 動脈血 pH 8.75	
Ⓒ 血液ガスを測定しないとき 静脈血 HCO_3^- (mmol/l)	
血清ナトリウム 139	0
血清カリウム 5.8	1
血清クレアチニン (mg/dl) (急性腎不全なら2倍) 1.9	2

	スコア
ヘマトクリット(%) 46.2	1
白血球数($\times 10^3/mm^3$) 2.3	2
グラスゴー・コーマ・スケール 14	1
[A]の合計	20 点

[B] 年齢点	スコア
年齢 43	0

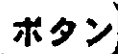
[C] 慢性的合併症	スコア
慢性疾患の有無 Ⓒ 1. なし Ⓒ 2. あり	5
慢性疾患ありの場合入力してください	
Ⓒ 1. 非術後 Ⓒ 2. 緊急手術後 Ⓒ 3. 定期手術後	

APACHE II スコア	
[A]+[B]+[C] =	25 点

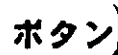


本画面は、評価一覧画面の A P 欄の状況表示をダブルクリックするか、A P 欄を選択後、当該画面

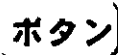
の「追加・修正」ボタンを押すことで表示することができます。



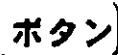
印刷：当該患者の APACHE II 評価情報を印刷



前患者：前患者の APACHE II 評価画面を表示
当該患者の追加修正があれば登録後、前患者の APACHE II 評価画面を表示します。



次患者：次患者の APACHE II 評価画面を表示
当該患者の追加修正があれば登録後、次患者の APACHE II 評価画面を表示します。



前日：当該患者の前日の APACHE II 評価画面を表示
当日の追加修正があれば登録後、前日の APACHE II 評価画面を表示します。

ボタン

翌日：当該患者の翌日の APACHE II 評価画面を表示
当日の追加修正があれば登録後、翌日の APACHE II 評価画面を表示します。

ボタン

前日コピー：前日の APACHE II 評価情報をコピー
本ボタンを押すことにより、前日の APACHE II 評価情報を本画面上にコピーします。

ボタン

登録：新しく追加修正又はコピーした情報を登録して評価一覧画面に戻る

ボタン

取消：新しく追加修正又はコピーした情報を登録しないで評価一覧画面に戻る

<項目説明>

[A] 急性の生理学的変化 (12項目)

1) 体温

小数点以下1位まで入力可能

異常高値スコア： +4： 41以上、+3： 39-40.9、+1： 38.5-38.9

正常値スコア： 0： 36-38.4

異常低値スコア： +1： 34-35.9、+2： 32-33.9、+3： 30-31.9、+4： 29.9以下

2) 平均血圧

平均血圧は、以下の式により最大血圧と最小血圧から自動的に算出されます。

平均血圧 = 最小血圧 + (最大血圧 - 最小血圧) / 3 . . . (小数点以下は、四捨五入)

最大血圧と最小血圧を入力してください。

異常高値スコア： +4： 160以上、+3： 130-159、+2： 110-129

正常値スコア： 0： 70-109

異常低値スコア： +2： 50-69、+4： 49以下

3) 心拍数

異常高値スコア： +4： 180以上、+3： 140-179、+2： 110-139

正常値スコア： 0： 70-109

異常低値スコア： +2： 55-69、+3： 40-54、+4： 39以下

4) 呼吸数

異常高値スコア： +4： 50以上、+3： 35-49、+1： 25-34

正常値スコア： 0： 12-24

異常低値スコア： +1： 10-11、+2： 6-9、+4： 5以下

5) 血液酸素化

FiO₂ の値によって、A-aDO₂ で評価するか、PaO₂ で評価するかを判断してください。

- a) FiO₂ が、0.5 以上の時、A-aDO₂ で評価
異常高値スコア： +4： 500 以上、+3： 350-499、+2： 200-349
正常値スコア： 0： 200 未満
- b) FiO₂ が、0.5 未満の時、PaO₂ で評価
正常値スコア： 0： 70 超
異常低値スコア： +1： 61-70、+3： 55-60、+4： 55 未満

6) 動脈血 pH / 静脈血 HCO₃

血液ガスを測定したか否かによって、動脈血 pH で評価するか、静脈血 HCO₃ で評価するかを

判断してください。

- a) 血液ガスを測定した時、動脈血 pH で評価
小数点以下 2 位まで入力可能
異常高値スコア： +4： 7.7 以上、+3： 7.6-7.69、+1： 7.5-7.59
正常値スコア： 0： 7.33-7.49
異常低値スコア： +2： 7.25-7.32、+3： 7.15-7.24、+4： 7.15 未満
- b) 血液ガスを測定しない時、静脈血 HCO₃ で評価
小数点以下 1 位まで入力可能
異常高値スコア： +4： 52 以上、+3： 41-51.9、+1： 32-40.9
正常値スコア： 0： 22-31.9
異常低値スコア： +2： 18-21.9、+3： 15-17.9、+4： 15 未満

7) 血清ナトリウム

異常高値スコア： +4： 180 以上、+3： 160-179、+2： 155-159、+1： 150-154
正常値スコア： 0： 130-149
異常低値スコア： +2： 120-129、+3： 111-119、+4： 110 以下

8) 血清カリウム

小数点以下 1 位まで入力可能
異常高値スコア： +4： 7 以上、+3： 6-6.9、+1： 5.5-5.9
正常値スコア： 0： 3.5-5.4
異常低値スコア： +1： 3-3.4、+2： 2.5-2.9、+4： 2.5 未満

9) 血清クレアチニン

小数点以下1位まで入力可能

異常高値スコア： +4： 3.5以上、+3： 2.3-3.4、+2： 1.5-1.9

正常値スコア： 0： 0.6-1.4

異常低値スコア： +2： 0.6未満

10) ヘマトクリット

小数点以下1位まで入力可能

異常高値スコア： +4： 60以上、+2： 50-59.9、 +1： 46-49.9

正常値スコア： 0： 30-45.9

異常低値スコア： +2： 20-29.9、+4： 20未満

11) 白血球数

白血球数は、10の3乗単位で入力することに注意してください。

例えば、14,900個/立方ミリメートルの場合、「14.9」と入力してください。

小数点以下1位まで入力可能

異常高値スコア： +4： 40以上、+2： 20-39.9、 +1： 15-19.9

正常値スコア： 0： 3-14.9

異常低値スコア： +2： 1-2.9、+4： 1未満

12) グラスゴー・コーマ・スケール (GCS)

GCSは、以下の方法で患者の意識レベルを評価してください。

評価内容

以下の3種類の区分毎に評価する。

E：開眼 (Eye Opening)	点数
自発的に	4
呼びかけに応じて	3
痛み刺激に応じて	2
開眼せず	1

M：最良の運動機能 (Best Motor Response)	点数
命令に従う	6
疼痛部認識 (払いのけ動作)	5
逃避反応あり	4
異常屈曲反応	3
伸展反応	2
まったく動かない	1

V：最良の発語 (Best Verbal Response)	点数
指南力良好	5
混乱した会話	4
不適切な言語	3
理解不能の音声	2
発語せず	1

V：最良の発語の評価において、気管内挿管の場合は推定してください。

点数化方法

各項目(E、M、V)毎に評価した点数を足し合わせてください。

例えば、E3、M5、V2の場合は、GCSの値は、10となります。

GCSの値は、最高が15点で最低が3点となり、スコアは、次式で求められます。

スコア = 15 - GCSの値

[B] 年齢

年齢は、患者一覧画面で設定した生年月日から当該日の年齢が自動的に計算されます。スコアは、年齢によって自動的に以下の様に決まります。

年齢	スコア
44以下	0
45～54	2
55～64	3
65～74	5
75以上	6

[C] 慢性的合併症

慢性疾患の有無を選択し、「あり」の場合は、手術の状況を答えてください。

スコアは、以下の関係により決まります。

	慢性疾患あり	慢性疾患なし
非術後	5	0
緊急手術後	5	0
定期手術後	2	0

慢性疾患の定義は、以下の通りです。

次の条件を満たす重症臓器不全の既往、あるいは免疫抑制状態が、今回の入院に先立って存在する場合は、

肝	硬変と診断、あるいは門脈圧亢進が存在する。 門脈圧亢進による上部消化管出血の既往がある。 肝不全・肝性昏睡の既往がある
心血管系	NYHA IV度（身体活動は極端に制限され、休止時でも心拍出量は減少している。血行動態パラメータは異常である。）
呼吸器系	慢性の拘束性・閉塞性疾患による、重度の運動制限（階段が上れない、家事ができない等）がある。 慢性の低酸素血症、高炭酸ガス血症、二次的な赤血球増加症、40mmHg以上の重症肺高血圧症、レスピレータ依存が存在する。
腎	慢性透析施行
免疫不全	感染防御機能を抑制する治療（免疫抑制薬、化学療法、照射療法、長期及び大量ステロイド投与）、あるいは免疫抑制を助長する疾患、（白血病、リンパ腫、AIDS）がある。

<警告>

以下の APACHE II 評価の組合せの場合、警告メッセージが表示される。問題があれば修正する必要があるが、問題が無ければ修正する必要はない。

動脈血ph	(7.33-7.49)	且つ	血清カリウム	(<2.5)
-------	-------------	----	--------	--------

付録 A 調査票

- 1) 病院の概況調査票
- 2) 職員調査票
- 3) 患者調査票
- 4) 配置管理票
- 5) 患者の状態評価票
- 6) APACHE II 調査票

病院の概況調査票

病院番号		病院名	
病棟番号		病棟名	

1. 病院全体について

病床数	床
うち一般病床数	床
平均在院日数（一般病棟） （直近3ヶ月）	日 (西暦 年 月から 年 月)

2. 特定集中治療室について

治療室数	室			
届出病床数	床			
うち稼働病床数	床			
平均患者数 （直近1年）	人/日	(西暦 年 月から 年 月)		
病床利用率(在室患者の延べ人数/(病床数*365日)) （直近1年）	%	(西暦 年 月から 年 月)		
平均在室日数 （直近3ヶ月）	日	(西暦 年 月から 年 月)		
死亡率（治療室内における死亡） （直近1年）	%	(西暦 年 月から 年 月)		
再入室率（退室後24時間内の再入室） （直近1年）	%	(西暦 年 月から 年 月)		
看護師の勤務時間帯 （該当する勤務帯の欄のみ記入）	日勤	時 分 ~ 時 分		
	夜勤	時 分 ~ 時 分		
	準夜勤	時 分 ~ 時 分		
	深夜勤	時 分 ~ 時 分		
	早出	時 分 ~ 時 分		
	遅出	時 分 ~ 時 分		
	その他勤務帯	時 分 ~ 時 分		
在室日数の分布 （前月退室患者）	1日	人	(西暦 年 月)	
	2日	人		
	3日	人		
	4日	人		
	5日	人		
	6日	人		
	7日	人		
	8日	人		
	9日	人		
	10日	人		
	11日	人		
	12日	人		
	13日	人		
	14日	人		
	14日超	人		

職員調査票

特定集中治療室に勤務する看護師の情報を記入してください。

職員 番号	職員名	性別	生年月日	年齢	看護経験 年数※	当該特定集中治療室 勤務年数※
1			T・S 年 月 日			
2			T・S 年 月 日			
3			T・S 年 月 日			
4			T・S 年 月 日			
5			T・S 年 月 日			
6			T・S 年 月 日			
7			T・S 年 月 日			
8			T・S 年 月 日			
9			T・S 年 月 日			
10			T・S 年 月 日			
11			T・S 年 月 日			
12			T・S 年 月 日			
13			T・S 年 月 日			
14			T・S 年 月 日			
15			T・S 年 月 日			
16			T・S 年 月 日			
17			T・S 年 月 日			
18			T・S 年 月 日			
19			T・S 年 月 日			
20			T・S 年 月 日			
21			T・S 年 月 日			
22			T・S 年 月 日			
23			T・S 年 月 日			
24			T・S 年 月 日			
25			T・S 年 月 日			
26			T・S 年 月 日			
27			T・S 年 月 日			
28			T・S 年 月 日			
29			T・S 年 月 日			
30			T・S 年 月 日			

看護経験年数と当該特定集中治療室勤務年数は、何年目かで年数を記入してください。

患者調査票

調査対象期間内に入室していた全患者の情報を記入若しくは選択（該当項目を○）してください。（用紙が不足する場合は、コピーして記入してください）

番号	患者名	性別	生年月日 (年齢)		入室状態		入室年月日		入室時分		入室前手術の有無		入室の判断基準			入室事由			
			M/T/S/H	年 月 日	入室	退室	入室	退室	時	分	入室前手術	年月日	入室	退室	入室	退室	A	B	C
		男	M/T/S/H	年 月 日			H	年 月 日	時	分	有・無		ア	イ	ウ	エ	オ		
		女	() 歳				H	年 月 日	時	分	H	年 月 日	カ	キ	ク	ケ	コ		
		男	M/T/S/H	年 月 日			H	年 月 日	時	分	有・無		ア	イ	ウ	エ	オ		
		女	() 歳				H	年 月 日	時	分	H	年 月 日	カ	キ	ク	ケ	コ		
		男	M/T/S/H	年 月 日			H	年 月 日	時	分	有・無		ア	イ	ウ	エ	オ		
		女	() 歳				H	年 月 日	時	分	H	年 月 日	カ	キ	ク	ケ	コ		
		男	M/T/S/H	年 月 日			H	年 月 日	時	分	有・無		ア	イ	ウ	エ	オ		
		女	() 歳				H	年 月 日	時	分	H	年 月 日	カ	キ	ク	ケ	コ		
		男	M/T/S/H	年 月 日			H	年 月 日	時	分	有・無		ア	イ	ウ	エ	オ		
		女	() 歳				H	年 月 日	時	分	H	年 月 日	カ	キ	ク	ケ	コ		
		男	M/T/S/H	年 月 日			H	年 月 日	時	分	有・無		ア	イ	ウ	エ	オ		
		女	() 歳				H	年 月 日	時	分	H	年 月 日	カ	キ	ク	ケ	コ		
		男	M/T/S/H	年 月 日			H	年 月 日	時	分	有・無		ア	イ	ウ	エ	オ		
		女	() 歳				H	年 月 日	時	分	H	年 月 日	カ	キ	ク	ケ	コ		
		男	M/T/S/H	年 月 日			H	年 月 日	時	分	有・無		ア	イ	ウ	エ	オ		
		女	() 歳				H	年 月 日	時	分	H	年 月 日	カ	キ	ク	ケ	コ		
		男	M/T/S/H	年 月 日			H	年 月 日	時	分	有・無		ア	イ	ウ	エ	オ		
		女	() 歳				H	年 月 日	時	分	H	年 月 日	カ	キ	ク	ケ	コ		
		男	M/T/S/H	年 月 日			H	年 月 日	時	分	有・無		ア	イ	ウ	エ	オ		
		女	() 歳				H	年 月 日	時	分	H	年 月 日	カ	キ	ク	ケ	コ		

※年齢は、対象期間の調査開始日又は当該患者の入室日の遅い方の日の年齢を記入してください。

※入室状態は、次の事態（1：外来から、2：手術室から、3：他病棟から、4：他院から）から番号で記入してください。

※退室状態は、次の事態（1：他病棟へ、2：手術室へ、3：他院へ、4：自宅へ、5：死亡）から番号で記入してください。

※入室の判断基準は、以下の状況の当てはまるものを全て選択してください。

- ア. 意識障害又は昏睡、イ. 急性呼吸不全又は慢性呼吸不全の急性増悪、ウ. 急性心不全（心筋梗塞を含む）エ. 急性薬物中毒、オ. ショック、カ. 重篤な代謝障害（肝不全、腎不全、重症糖尿病等）、キ. 広範囲熱傷、ク. 大手術後、ケ. 救急蘇生後、コ. その他外傷、破傷風等で重篤な状態
- ※入室事由は、Aが「熱傷」、Bが「冠動脈疾患」、Cが「心臓手術」であり、該当すれば○を記入してください。
- ※記載した年齢が、16歳未満又は入室事由が「熱傷」のいずれかの場合は、当該患者のAPACHE IIの入力が不要となります。

配置管理票

調査日毎の実配置数を記入してください。

No	調査日	看護師（勤務帯毎に記入※）										臨床工学士（NE）	その他		
		日勤	夜勤	準夜勤	深夜勤	早出	遅出	その他	スタッフ（特定集中治療室担当医師）	研修医	他科よりのローテイト				
1	月 日														
2	月 日														
3	月 日														
4	月 日														
5	月 日														
6	月 日														
7	月 日														
8	月 日														
9	月 日														
10	月 日														
11	月 日														
12	月 日														
13	月 日														
14	月 日														
15	月 日														
16	月 日														
17	月 日														
18	月 日														
19	月 日														
20	月 日														
21	月 日														

※看護師の勤務帯は、概況調査票の勤務時間帯に記載した欄のみ毎日記入してください。

患者の状態評価票

患者番号		患者名	
------	--	-----	--

患者の状態について、該当する番号に○をつけてください。

患者の状態に変動がある場合には、状態の重い方に○をつけてください。

() 内には、当該項目がありの場合、必要な数字をお書きください。

A. 調査日の状況（調査日の0時～24時）

1. 手術の有無	1. なし	2. あり
2. 調査日の主な診断名（最大3種類）	(1)	
	(2)	
	(3)	
3. 床上安静の指示	1. なし	2. あり

B. 処置等（前日の調査時刻～本日の調査時刻）

4. 心電図モニター	1. なし	2. あり
5. 動脈圧測定（動脈ライン）	1. なし	2. あり
6. 中心静脈圧測定（中心静脈ライン）	1. なし	2. あり
7. 肺動脈圧測定（スワンガンツカテーテル）	1. なし	2. あり
8. 人工呼吸器の装着	1. なし	2. あり
9. 人工呼吸器を装着しない気管内挿管、気管切開	1. なし	2. あり
10. 特殊な治療法（CHDF, IABP, PCPS, 補助人工心臓, ICP測定）	1. なし	2. あり
11. 輸液ポンプの台数	1. なし	2. あり（台数 台）
12. シリンジポンプの台数	1. なし	2. あり（台数 台）
13. 持続ドレナージの本数	1. なし	2. あり（本数 本）
14. 輸血又は血液製剤の使用	1. なし	2. あり
15. 蘇生術の施行	1. なし	2. あり

C. 患者の状況（調査日の日勤時間帯）

16. 寝返り	1. できる	2. 何かにつかまればできる	3. できない
17. 起き上がり	1. できる	2. できない	
18. 座位保持	1. できる	2. 支えがあればできる	3. できない
19. 移乗	1. 介助なし 2. 見守り・一部介助が必要 3. 全介助		
20. 口腔清潔介助	1. なし	2. あり	
21. 鎮静のできない不穏状態の有無	1. なし	2. あり	
22. 移動方法（主要なもの1つ）	1. 自立歩行 2. 杖歩行 3. つたい歩き 4. 歩行器 5. 車椅子による自力走行 6. 車椅子による介助走行 7. その他（搬送車等） 8. 移動なし		

APACHE II 調査票

患者番号 () 患者名 ()

[A] 急性の生理学的変化 (12 項目)

測定値	スコア	該当する箇所には○をつけて、スコア欄に点数を記入して下さい。									
		異常高値					異常低値				
		+4	+3	+2	+1	0	+1	+2	+3	+4	
体温 (°C)	() °C	≥41	39-40.9		38.5-38.9	36-38.4	34-35.9	32-33.9	30-31.9	≤29.9	
平均血圧 (mmHg) ※	() mmHg	≥160	130-159	110-129		70-109		50-69		≤49	
心拍数	()	≥180	140-179	110-139		70-109		55-69	40-54	≤39	
呼吸数 (自発、強制を問わず)	()	≥50	35-49		25-34	12-24	10-11	6-9		≤5	
血液酸素化: A-aDO ₂ または PaO ₂ (mmHg)	()										
a) FiO ₂ ≥ 0.5 にて A-aDO ₂	()	≥500	350-499	200-349		<200					
b) FiO ₂ < 0.5 にて PaO ₂	()					>70	61-70		55-60	<55	
血液ガスを測定したとき: 動脈血 pH	()	≥7.7	7.6-7.69		7.5-7.59	7.33-7.49		7.25-7.32	7.15-7.24	<7.15	
血液ガスを測定しないとき: 静脈血 HCO ₃ (mmol/l)	()	≥52	41-51.9		32-40.9	22-31.9		18-21.9	15-17.9	<15	
血清ナトリウム	()	≥180	160-179	155-159	150-154	130-149		120-129	111-119	≤110	
血清カリウム	()	≥7	6-6.9		5.5-5.9	3.5-5.4	3-3.4	2.5-2.9		<2.5	
血清クレアチニン (mg/dl) (急性腎不全なら 2 倍)	()	≥3.5	2-3.4	1.5-1.9		0.6-1.4		<0.6			
ヘマトクリット (%)	() %	≥60		50-59.9	46-49.9	30-45.9		20-29.9		<20	
白血球数 (×10 ³ /mm ³)	()	≥40		20-39.9	15-19.9	3-14.9		1-2.9		<1	
グラスゴー・コマ・スケール (GCS)	()	スコア = 15 - (3 ≤ 実際の GCS ≤ 15)									
[A] の合計		() 点		※ 平均血圧 = 最小血圧 + (最大血圧 - 最小血圧) / 3							

[B] 年齢点

区分	スコア
年齢 () 歳 ≤44	0
45~54	2
スコア () 点 55~64	3
65~74	5
≥75	6

[C] 慢性的合併症

	慢性疾患		スコア
	あり	なし	
非術後	5	0	() 点
緊急手術後	5	0	
定期手術後	2	0	

[C] 慢性疾患の定義

次の条件を満たす重症臓器不全の既往、あるいは免疫抑制状態が、今回の入院に先立って存在する。

肝: 生検で肝硬変と診断、あるいは門脈圧亢進が存在する。門脈圧亢進による上部消化管出血の既往がある。肝不全・肝性昏睡の既往がある。

心血管系: NYHA IV 度

呼吸器系: 慢性的拘束性・閉塞性疾患による、重度の運動制限 (階段が上がれない、家事ができないなど) がある。

慢性的低酸素血症、高炭酸ガス血症、二次的な赤血球増加症、40mmHg 以上の重症肺高血圧症、レスピレーター依存が存在する。

腎: 慢性透析施行

免疫不全: 感染防御機能を抑制する治療 (免疫抑制薬、化学療法、照射療法、長期および大量ステロイド投与) あるいは免疫抑制を助長する疾患 (白血病、リンパ腫、AIDS) がある。

APACHE II スコア =

[A] + [B] + [C] = () 点

付録 B ICD10による診断名マスタの概要

第1章 感染症および寄生虫症(A、B)

項番	分類名
1	腸管感染症 (A00－A09)
2	結核 (A15－A19)
3	人畜共通細菌性疾患 (A20－A28)
4	その他の細菌性疾患 (A30－A49)
5	主として性的伝播様式をとる感染症 (A50－A64)
6	その他のスピロヘータ疾患 (A65－A69)
7	クラミジアによるその他の疾患 (A70－A74)
8	リケッチア症 (A75－A79)
9	中枢神経系のウイルス感染症 (A80－A89)
10	節足動物媒介ウイルス熱およびウイルス性出血熱 (A90－A99)
11	皮膚および粘膜病変を特徴とするウイルス感染症 (B00－B09)
12	ウイルス肝炎 (B15－B19)
13	ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 病 (B20－B24)
14	その他のウイルス疾患 (B25－B34)
15	真菌症 (B35－B49)
16	原虫疾患 (B50－B64)
17	ぜんく蠕虫症 (B65－B83)
18	シラミ、ダニ症およびその他の動物寄生症 (B85－B89)
19	感染症および寄生虫症の続発・後遺症 (B90－B94)
20	細菌、ウイルスおよびその他の病原体 (B95－B97)
21	その他の感染症 (B99)

第Ⅱ章 新生物(C)

項番	分類名
1	口唇, 口腔および咽頭の悪性新生物 (C00-C14)
2	消化器の悪性新生物 (C15-C26)
3	呼吸器および胸腔内臓器の悪性新生物 (C30-C39)
4	骨および関節軟骨の悪性新生物 (C40-C41)
5	皮膚の黒色腫およびその他の悪性新生物 (C43-C44)
6	中皮および軟部組織の悪性新生物 (C45-C49)
7	乳房の悪性新生物 (C50)
8	女性性器の悪性新生物 (C51-C58)
9	男性性器の悪性新生物 (C60-C63)
10	尿路の悪性新生物 (C64-C68)
11	眼, 脳および中枢神経系のその他の部位の悪性新生物 (C69-C72)
12	甲状腺およびその他の内分泌腺の悪性新生物 (C73-C75)
13	部位不明確, 続発部位および部位不明の悪性新生物 (C76-C80)
14	リンパ組織, 造血組織および関連組織の悪性新生物 (C81-C96)
15	独立した(原発性)多部位の悪性新生物 (C97)
16	上皮内新生物 (D00-D09)
17	良性新生物 (D10-D36)
18	性状不詳または不明の新生物 (D37-D48)

第Ⅲ章 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害(D)

項番	分類名
1	栄養性貧血 (D50-D53)
2	溶血性貧血 (D55-D59)
3	無形成性貧血およびその他の貧血 (D60-D64)
4	凝固障害, 紫斑病およびその他の出血性病態 (D65-D69)
5	血液および造血器のその他の疾患 (D70-D77)
6	免疫機構の障害 (D80-D89)

第IV章 内分泌, 栄養および代謝疾患(E)

項番	分類名
1	甲状腺の障害 (E 00－E 07)
2	糖尿病 (E 10－E 14)
3	その他のグルコース調節および膵内分泌障害 (E 15－E 16)
4	その他の内分泌腺障害 (E 20－E 35)
5	栄養失調 (症) (E 40－E 46)
6	その他の栄養欠乏症 (E 50－E 64)
7	肥満 (症) およびその他の過栄養<過剰摂食> (E 65－E 68)
8	代謝障害 (E 70－E 90)

第V章 精神および行動の障害(F)

項番	分類名
1	症状性を含む器質性精神障害 (F 00－F 09)
2	精神作用物質使用による精神および行動の障害 (F 10－F 19)
3	精神分裂病, 分裂病型障害および妄想性障害 (F 20－F 29)
4	気分 [感情] 障害 (F 30－F 39)
5	神経症性障害, ストレス関連障害および身体表現性障害 (F 40－F 48)
6	生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群 (F 50－F 59)
7	成人の人格および行動の障害 (F 60－F 69)
8	精神遅滞 (F 70－F 79)
9	心理的発達障害 (F 80－F 89)
10	小児<児童>期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害 (F 90－F 98)
11	詳細不明の精神障害 (F 99)

第VI章 神経系の疾患(G)

項番	分類名
1	中枢神経系の炎症性疾患 (G00-G09)
2	主に中枢神経系を障害する系統萎縮症 (G10-G13)
3	錐体外路障害および異常運動 (G20-G26)
4	神経系のその他の変性疾患 (G30-G32)
5	中枢神経系の脱髄疾患 (G35-G37)
6	挿間性および発作性障害 (G40-G47)
7	神経筋接合部および筋の疾患 (G70-G73)
8	脳性麻痺およびその他の麻痺性症候群 (G80-G83)
9	その他の神経系の障害 (G90-G99)

第VII章 眼および付属器の疾患(H)

項番	分類名
1	眼瞼, 涙器および眼窩の障害 (H00-H06)
2	結膜の障害 (H10-H13)
3	強膜, 角膜, 虹彩および毛様体の障害 (H15-H22)
4	水晶体の障害 (H25-H28)
5	脈絡膜および網膜の障害 (H30-H36)
6	緑内障 (H40-H42)
7	硝子体および眼球の障害 (H43-H45)
8	視神経および視(覚)路の障害 (H46-H48)
9	眼筋, 眼球運動, 調節および屈折の障害 (H49-H52)
10	視機能障害および盲<失明> (H53-H54)
11	眼および付属器のその他の障害 (H55-H59)

第VIII章 耳および乳様突起の疾患(H)

項番	分類名
1	外耳疾患 (H60-H62)
2	中耳および乳様突起の疾患 (H65-H75)
3	内耳疾患 (H80-H83)
4	耳のその他の障害 (H90-H95)

第IX章 循環器系の疾患(I)

項番	分類名
1	急性リウマチ熱 (I 00－I 02)
2	慢性リウマチ性心疾患 (I 05－I 09)
3	高血圧性疾患 (I 10－I 15)
4	虚血性心疾患 (I 20－I 25)
5	肺性心疾患および肺循環疾患 (I 26－I 28)
6	その他の型の心疾患 (I 30－I 52)
7	脳血管疾患 (I 60－I 69)
8	動脈, 細動脈および毛細血管の疾患 (I 70－I 79)
9	静脈, リンパ管およびリンパ節の疾患, 他に分類されないもの (I 80－I 89)
10	循環器系のその他および詳細不明の障害 (I 95－I 99)

第X章 呼吸器系の疾患(J)

項番	分類名
1	急性上気道感染症 (J 00－J 06)
2	インフルエンザおよび肺炎 (J 10－J 18)
3	その他の急性下気道感染症 (J 20－J 22)
4	上気道のその他の疾患 (J 30－J 39)
5	慢性下気道疾患 (J 40－J 47)
6	外的因子による肺疾患 (J 60－J 70)
7	主として間質を障害するその他の呼吸器疾患 (J 80－J 84)
8	下気道の化膿性および えく壊>死性病態 (J 85－J 86)
9	胸膜のその他の疾患 (J 90－J 94)
10	呼吸器系のその他の疾患 (J 95－J 99)

第X I 章 消化器系の疾患(K)

項番	分類名
1	口腔, 唾液腺および顎の疾患 (K00-K14)
2	食道, 胃および十二指腸の疾患 (K20-K31)
3	虫垂の疾患 (K35-K38)
4	ヘルニア (K40-K46)
5	非感染性腸炎および非感染性大腸炎 (K50-K52)
6	腸のその他の疾患 (K55-K63)
7	腹膜の疾患 (K65-K67)
8	肝疾患 (K70-K77)
9	胆のう<嚢>, 胆管および膵の障害 (K80-K87)
10	消化器系のその他の疾患 (K90-K93)

第X II 章 皮膚および皮下組織の疾患(L)

項番	分類名
1	皮膚および皮下組織の感染症 (L00-L08)
2	水泡症 (L10-L14)
3	皮膚炎および湿疹 (L20-L30)
4	丘疹落せつ<屑><りんせつ<鱗屑>>性障害 (L40-L45)
5	じんま<蕁麻>疹および紅斑 (L50-L54)
6	皮膚および皮下組織の放射線 (非電離および電離) に関連する障害 (L55-L59)
7	皮膚付属器の障害 (L60-L75)
8	皮膚および皮下組織のその他の障害 (L80-L99)